

疲れた…
金曜に残業かよ…


金曜日9時の駅前は
楽しい酔っ払いに溢れている。
俺もいつもなら
ちよい飲みするところだが
真っすぐ家路につく。

メシ
あるよな…？

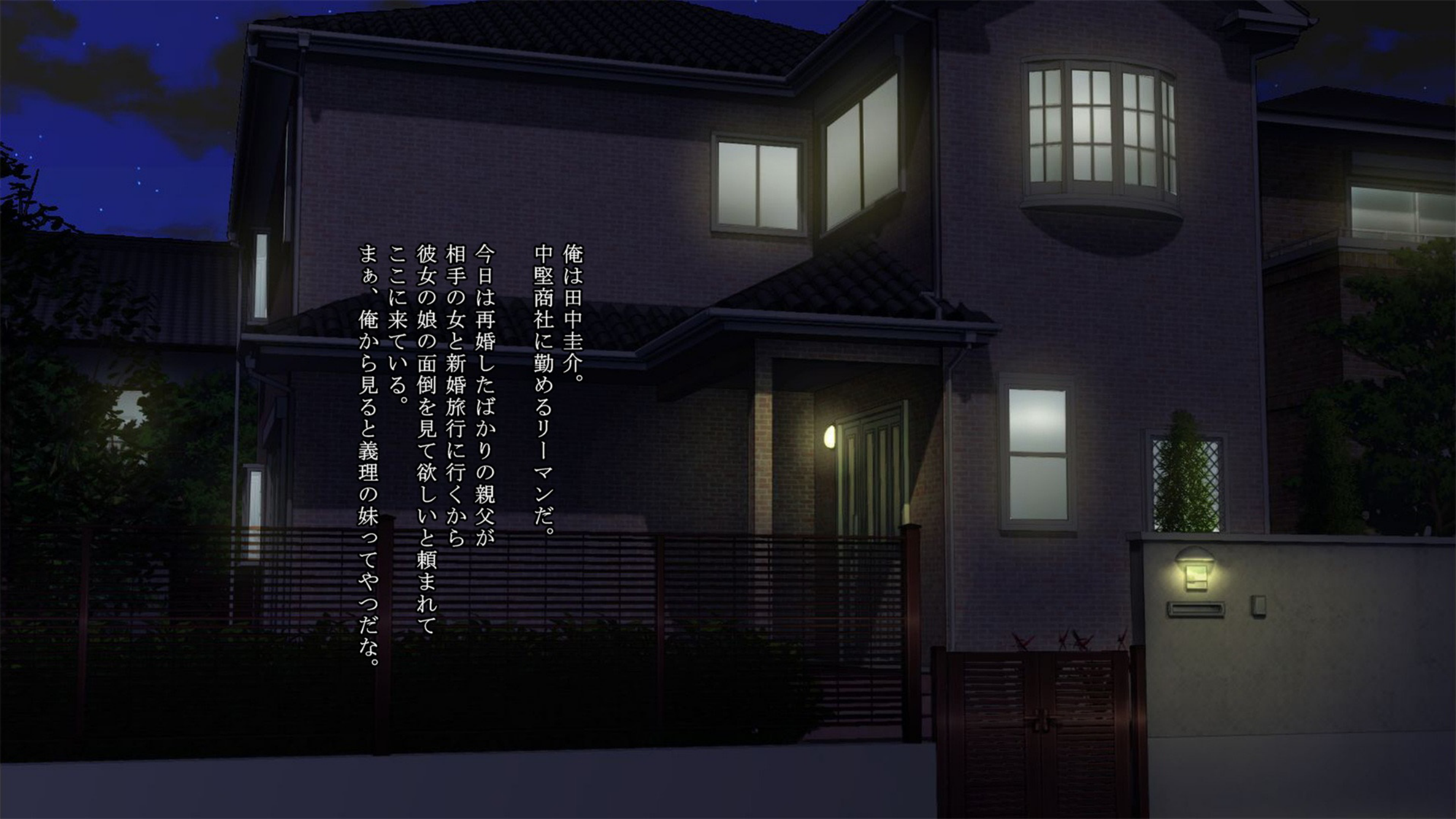
コンビニで夕飯を買おうと思ったが
今日は俺のマンションではなく
実家に帰るのだから
メシがあることを期待する。

Family store

Family store
Family store




実家だ。
就職して一人暮らしするまで
ここに住んでいた。



俺は田中圭介。
中堅商社に勤めるリーマンだ。

今日は再婚したばかりの親父が
相手の女と新婚旅行に行くから
彼女の娘の面倒を見て欲しいと頼まれて
ここに来ている。
まあ、俺から見ると義理の妹ってやつだな。



この歳で妹ができたって言われても
なんの愛着もわかないけれど
別の感情は持っている。
今日はいいいチャンスだ。

ただいま…

長年住んだ実家だけど
恐る恐る挨拶をする。
するとリビングの方から
声が聞こえてくる。

兄さん？

お帰りなさい
兄さん

コト...

彼女が俺の義妹の
田中京子(きょうこ)。
中学二年生だ。

疲れた…
かばんココに
置かせてもらおうぞ

こんな遅くまで
お仕事だったの？

ああ
ウチは働き方改革とか
関係ないからな

そっかー
無理しないでね



親父たちは
もう旅館に
着いたかな？

うん
さっき電話で
ちやんと着いたって

いい歳して
新婚旅行って
のみなあ…

もお！
お母さんたち
楽しそうだったよ

ふんふん

ご飯は
もう食べた？
簡単に何か
作ろっか？

そうだな…
京子を食べちや
おうか♪

ふふ…
兄さんったら
オムライスなら
すぐ作るよ

いやマジで
お前が食べたい

ふふふ

…何言っているの？

言ってる意味が
分からないほど
子供でもないだろ？
ヤラせろってことだよ

ムッ

そういう冗談は
私嫌いです…

俺たちが合うな
俺も嫌いだよ
だからマジな話

そんなの…
やだ…

京子の顔に恐怖が浮かび
見てわかるくらいに震えている。

ブルブル

おっぱい

ギャッ…

おっぱい

兄妹でなんて…
できるわけ…

むしろソッチのが
萌えるだろ？

うう…
なんで…？

そりゃ女とやるのに
性欲以外の理由が
あるのか？

んんん

お母さん…
たすけて…

お前のお袋も
今ごろ親父と
ヤッてるんじや
ねえの？

MP

とりあえず
スカートまくって
パンツ見せてみるよ

ひいひい！
やだああ…

んん

んん

「嫌あ…」

んん

それとも
服を引き裂かれるのが
お好みなのか？

うう…
やめて…

ふわあ…
京子がゆっくりと
スカートをめくる。

へえ…縞パンか
いい趣味してんじゃん

ムシマシ

ふわ
ふわ

どい

んん

んん

んん

う…ん…
はずかしい…

ってよく見たら
綿パンかー
中学生になって
そんなモン穿くなよ

だって…

それって
小学生が
使うモンだろ？

…お母さんが
買ってきてくれた
下着だし…

お母…

お母…

はぁ

んんん

んん

んん



兄さん…
もう…いいでしょ…?

ん？
何がだ？

血がつながって
なくても
兄妹なんだから…

だから
やめろって？

はあ…

はあ…

はあ

んんん

んん

んん

私…本当に…
はずかしい…

そりや恥ずかしいだろ
スカートまくったせいで
お前の股間の臭さが
すっげえ匂うもんな♪

うう…
嗅がないでええ…

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

なあココで
シヨンベン
漏らしてみろよ

え...?
なに...
言ってるの...?

そんな臭いパンツ
穿いてんなら
おもしろしても
同じだろ?

やだッ!
そんなの絶対に
しない——ッ!

んん

んん

んん

んん

んん

分かったら！
漏らしたら
レイプはやめて
やるよ☆

…本当に？

ああ
兄貴を信じて

本当に
約束だよ…？

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



まじまじ……ッ!

京子が歯を食いしばって
踏ん張っている。
女のこんな表情は
初めて見たな。

んん

きゃんっ……

んんん

んんん

んんん

んんん

んん

ほらほら！
頑張れ〜♪



うぐうううう……！
出ないよ……

ぴゅん…

おおー
パンツにシミが…
がんばれ☆

びゅん…

びゅん

びゅん

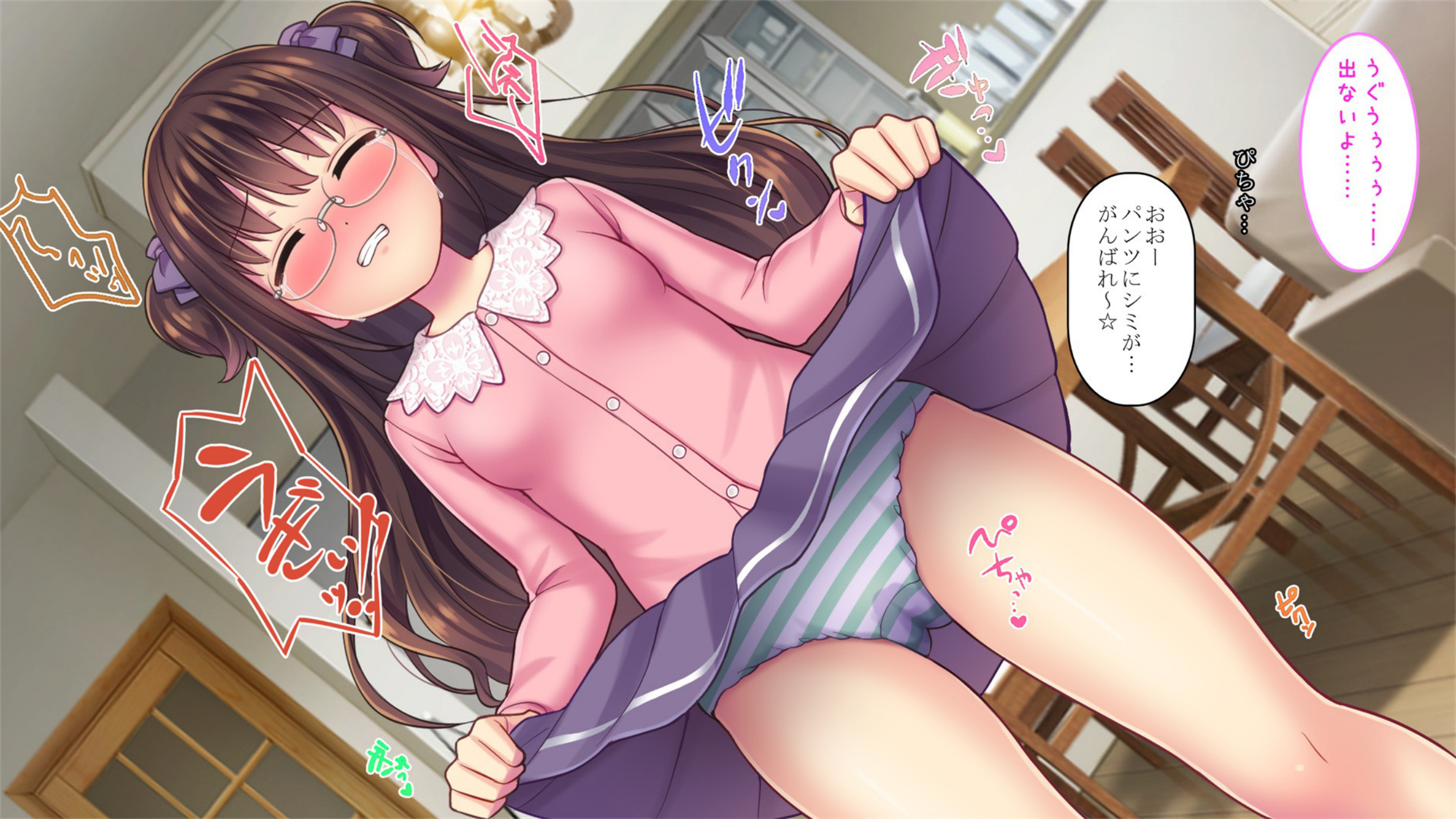
びゅん

びゅん

びゅん…

びゅん

びゅん



はあああ——

ポタ…ポタ…
京子が息を吐いた瞬間
太ももに液体が垂れ落ちる。

ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

ポタ
ポタ
ポタ

あーあ
ホントに漏らし
ちやっとな…

いやあああ…
とまらない…

ほら！
全部出しちまえよ！

んっ、

んっ、

んっ、

んっ、

んっ、

んっ、

んっ、



ううう…
う…う…ン…

どうだ？
リビングで
パニツ履いたまま
おもらしした気分は？

ん、
ちゅ、

ぽん
ぽん

ぽん
ぽん

ん、
ん、

ん、
ん、

う…う…んな…
なんで…うう…

ん、
ん、



パンツぐちよ濡れで
気持ち悪いだろ？
脱がせてやるよ

え？待って…
もう終わりじゃ…

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん



俺は京子の言葉を聞かずに
パンツを一気にずり下ろす。

ひやああ——ッ！
ヤメテええええ！

「お嬢さん...」

ズン！

ボロボロ

ズン

ズンズン

お

ズン

うほっ☆
マンコが
濡れ濡れだな♪

おねがい…
兄さん
もう…やめて…

そう言うな♪
お前の小便まみれの
マンコを綺麗に
してやるから

ちゅ…

ドキ
ドキ

おねがい

おねがい

おねがい
おねがい
おねがい

ガッ
ガッ

いいですッ!
自分でふくから…

遠慮しないで
ケツをこっちに
向けろって

あ...♡♡

あ...♡

自分でマンコを
広げてみ?

俺は京子の体を
強引に跪かせる。

あ...♡

張る...

あ...

あ♡

あ...

ちゅ♡♡





ん
あぁ



ん
ん
ん

じゅぽっ♡

ん
ん
ん
ん

さすが中学生
綺麗な色だ

俺は京子の股に
手を伸ばす。

あ♡

んあ♡

んんん

あん♡

ダメネーッ!
さわらないで!

3点責めは
気持ちいいだろ?

ぐちゅぐちゅと
小便と愛液が
混ざった音が響く。

んん

んん

ごちゃ

ごちゃ

ごちゃ



ん？

ん？

ん？

ん？...

ん？

ん？

ん？

自分ばかり
気持ち良く
ならないで
俺も気持ち良
してくれよ

ふひゃ？

ふー

俺は服を脱ぎ
京子の体の下に
潜り込む。